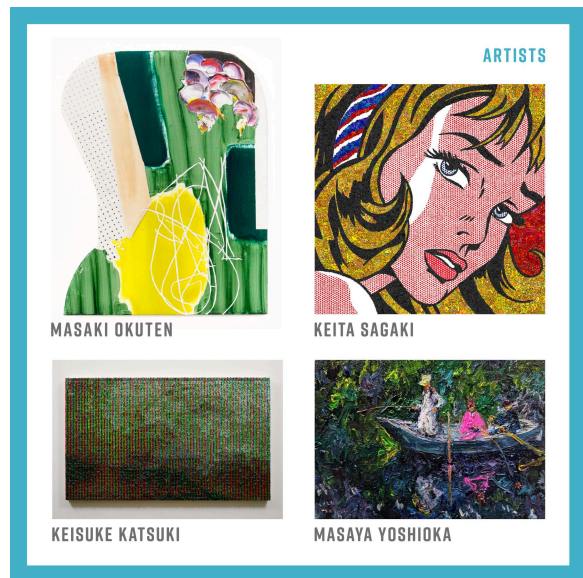




奥天昌樹、香月恵介、サガキケイタ、吉岡雅哉の作品による展覧会「Modal Landscape」が7月3日よりみんなのギャラリーで開催。



Modal Landscape

2024年7月3日(水)～28日(日)

12:00-19:00

休廊: 月・火曜、7月17日

<https://www.minnanogallery.com/modal-landscape>

出展:

奥天昌樹 <https://www.instagram.com/masakiokuten/>

香月恵介 <https://www.keisukekatsuki.com/>

サガキケイタ <https://sagakikeita.com/>

吉岡雅哉 <https://www.instagram.com/masayayoshiokaPainter/>

みんなのギャラリー | 東京都台東区東上野4-14-3 2F

お問合せ先 | 田森葉一 | [tamori@minnanogallery.com](mailto:tamori@minnanogallery.com) | 03-6268-9658

プレスイメージ(ダウンロード)

[https://drive.google.com/drive/folders/14b2A6t6gqaY3q-W\\_5XbHaTVKPRkrsZMc?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/14b2A6t6gqaY3q-W_5XbHaTVKPRkrsZMc?usp=sharing)

みんなのギャラリーはこの度、奥天昌樹、香月恵介、サガキケイタ、吉岡雅哉の作品による展覧会「Modal Landscape」を開催致します。

4名の作家の新作、旧作、未発表作の絵画・版画作品によって構成される本展は、各作家の創作活動の軸となる領域を、ミニマムな構成によって紹介していきます。

各作品は、グループ展特有の一つの具体的なテーマに回収されることなく、それぞれの軸を保ち自立しながら隣り合います。

奥天昌樹は、美術史におけるコンテクストを画面上から意図的に取り除くことで、絵画が孕んでしまう美術史的な背景や絵画空間内に配置されたモチーフから伝わってしまう過剰な意味性をシャットアウトし、美術史によって解釈される範囲よりもさらに広く普遍的な感覚で人々が触れることのできる絵画表現に取り組んでいます。

香月恵介は、見る・視えるということを根本から探り、そうした行為・現象を可能にする情報システムやメディウム、そして光の存在を捉え直し、美術の枠組みの中でこれらの存在を明らかにする作品を発表しています。

サガキケイタは、対象にあらゆる角度から迫り、生と死、聖と俗、秩序と混沌といった二項対立の概念の共存を見つけ出し、「全体と部分」の流動・補完的な関係性を可視化し、一面的には語るができない価値観や美意識の不確かさを暴いていきます。

吉岡雅哉は、時空を超えた空間とそこで繰り広げられる人々の営みを、彼らの内面に寄り添いながら、繰り返し描いていきます。枝分かれしながらも絡み合う複数のシリーズ作品が、私たちの現実とも交錯しながら展開しています。

各作家の異なる体系を空間に成立させながらも、本展はさらに、各セクションを通過する際に生じる鑑賞体験の連なりを一つのセッションと捉え、空間全体の性格を見る側が自由に描写できるような在り方を探っていきます。